

## 江府町 地域おこし協力隊 通信

昨年8月から江府町に新たに着任した2名の地域おこし協力隊員。江府町の厳しい冬の寒さにも負けず、ようやく暖かな春を迎え、さあこれからエンジン全開！！江府町の地域おこし協力隊員の活動を今月号も報告します。

### 今月号のテーマ 「新たな企画に挑戦中！！」

#### 農業部門（活動内容：農事組合法人宮市での商品開発など）



にしじま としあき  
西嶋 俊明

以前お知らせしたように、私は宮市の試験田でカモミールを栽培しています。なぜカモミールかというと、「カモミールは、冷涼な江府町の高原での栽培が適している」と、漢方薬局の知り合いが勧めてくれたからです。

幸い、栽培期間が11月から翌年6月なので、大豆や蕎麦の裏作にも適しています。

私の試験田でのカモミールは、今季の積雪に負けず元気で育っていて、寒さや雪に滅法強いことが証明されました。

いろんな効能を持ち、きれいな花を咲かせ、リンゴのような香りを放つカモミールは、観光にも資する花でもあります。

そんなわけで、江府町全体で「奥大山 高原カモミール」をブランドにすべく栽培されることをお勧めいたします。



▲カモミールの試験田の様子

#### ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）



あべ まさき  
阿部 将樹

3月に入り、日増しに暖かくなってまいりました。春の足音も、すぐそこまでやって来ているようです。

まなびや縁側の特別講座として、「日野町議員さんとの意見交換会」を2月8日（月）に実施しました。自己紹介の後、生徒はそれぞれ事前に考えてきた質問や意見を議員の皆さんに伝えました。生徒達からは、農業に関する質問や今ある地域資源の利活用・発信、そして日野高校についての意見や質問がありました。意見交換の中で、ある議員さんからは「日野郡には、このように地域のことを考えてくれる生徒たちがたくさんいる。そのこと自体がこのまちの魅力だと思った」という声もいただきました。若い生徒たちから自分の地域をより良くしようとする意見や活動が出るのは嬉しいですね。

また、2月9日（火）には、塾生の探究活動の一環として、「日野郡ソフトテニス座談会」を実施しました。日野高校の2年生で唯一の部員である生徒が、中学生向けの勧誘パンフレットに掲載するため企画。段取りを一貫して生徒が行なった座談会には、日野郡3町のソフトテニスを楽しむ方々にご参加いただき、「競技レベルが高い日野郡内の社会人クラブとの定期的な合同練習」をはじめ、様々な案が上がりました。生徒は「たくさんの課題と解決策が出た。早速に合同練習を開いて写真を撮り、パンフレットに入れたい」と意気込んでいます。

まなびや縁側では、今後も生徒の地域での活動を全力でサポートしていきます！



▲日野郡ソフトテニス座談会の様子